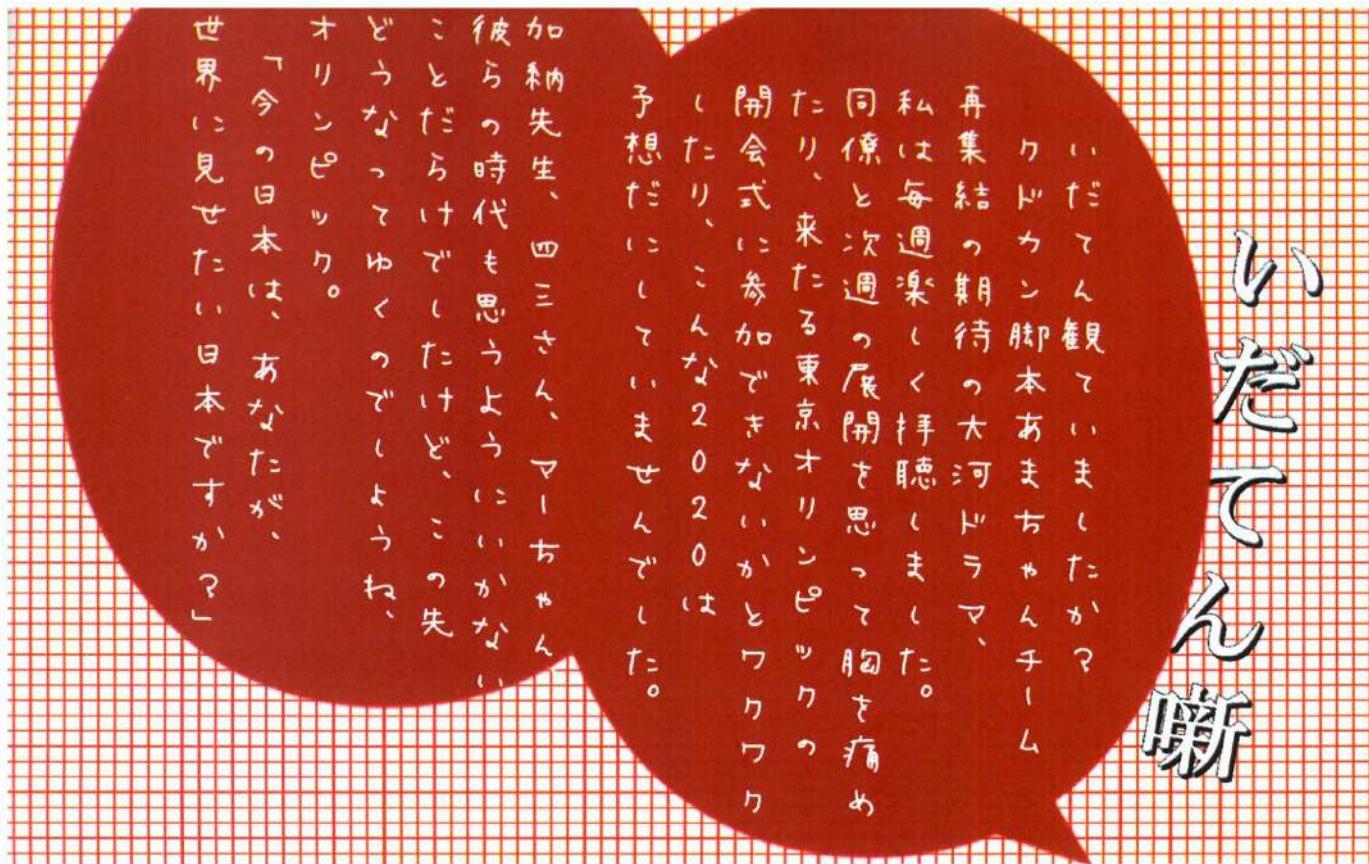




	書名	著者名	請求記号
1	いだてん嘶	細馬宏通著	778/Ho
2	2020東京オリンピック・パラリンピックを社会学する：日本のスポーツ文化は変わるのか	日本スポーツ社会学会編集 企画委員会編	780/Ni
3	ブラックボランティア	本間龍著	780/Ho
4	TOKYOオリンピック物語	野地秩嘉著	780/No
5	学問としてのオリンピック	橋場弦、村田奈々子編	780/Ha
6	オリンピックという名の虚構：政治・教育・ジェンダーの視点から	ヘレン・ジェファーソン・レン スキー著、井谷恵子、井谷 聰子監訳	780/Le
7	空に向かって	安藤美姫著	784/An
8	東京の子	藤井太洋著	913.6/Fu
9	バタフライ：17歳のシリア難民少女がリオ五輪で泳ぐまで	ユスラ・マルディニ、ジヨ ジー・ルブロンド著、土屋京 子訳	785/Ma
10	命がけの証言	清水ともみ著	316/Sh
11	オリンピックの身代金	奥田英朗著	913.6/615
12	対談・座談 現代スポーツの論点：オリンピック・パラリン ピックレガシーを語り尽くす	友添秀則編著	780/To
13	1	猪谷千春著	780/Ig



2020東京 オリンピック・パラリンピックを社会学する 日本のスポーツ文化は変わるのであるのか

新型コロナの影響で延期、縮小しての開催となりそうなオリンピック。あたり前に開催されるより、明らかにオリンピックとは何か、目的やあり方に関心がもたれることにふたつのではないでしょうか。開催を終えた時、日本のスポーツ文化は変わるものかもしだいです！

ブラックボランティア

コロナ禍での開催

是非に控れる東京五輪。

感染への不安などから

ボランティアの辞退者が続出

して、さが、募集要項が代表
され、「二〇一八年時点で無償

ボランティア」がブラックすぎる」と

批判が起きていた。

スドニサー企業から莫大な
賛金を得てながら

通訳や医療師すらも無償で

募集した組織委・内実正

知れば知るほど東京五輪の

ボランティアが感動詐欺で

やりたい挣钱だと分かること

メディアで報道されないのは

なぜか、知りければ

読んでみてほしい。

(二〇一八年七月出版)

TOKYO
オリンピック
物語

野地 株嘉(著)

1964年東京オリンピックを

開催するにあたり、集められた様なプロフェッショナルたち
が熱い気持ちで困難に立ち向かっていく姿が詳細に書かれています。オリンピックという舞台

での仕事をする意味、そしてその後の影響の大きさを知ることが

できます。

試合の結果をリアルタイムで知らせる
システムの構築、民間警備(現セコム)
の設立、世界初標準化されたピクトグラム
を作り上げるなど。
さて、2020年東京オリンピックは、これから
どの様な影響を日本に与えてくれる
のでしょうか?

「学問としてのオリンピック」

歴史・哲学
芸術
スポーツ科学の視点から
オリンピックを学べる！ 東大教養学部の
リレー講義から生まれた本です

- ・神々の父セウスに捧げる宗教的祭典だった古代オリンピック
古代ギリシア世界の多くの考え方、人生觀とは、
ソクラテスやアリストテレスは、肉体と精神の結びつきを説き、
肉体の鍛錬も怠らなかつた。古代ギリシアの詩人、抒情詩者、
哲諭家たちの言説から読み解くオリンピックが描かれては？
- ・ギリシア美術品である壺絵や陶器、またオリエンタルの
貴賤から想像される古代オリンピックとは？
- ・古代から今日のオリンピックに至るまで、多くの競技種目に
共通する基本的な動き、「走る」「跳ぶ」「投げる」等、
スポーツバイオニクスの視点から分析すると…
- ・近代オリエンピック発案者アーベルターノの「スポーツを通じて
道徳的、倫理的人間を形成する」という普遍的な理念と
第一回近代オリエンピック開催地ギリニアにおけるナショナリズムの対立。そこから一世紀以上を経た今、変わったもの
変わらないものとは？

オリンピック という名の虚構

政治・教育・ジエンダーの視点から

東京オリンピック開催の是非が議論されてきた。

この本では
メディアで報道されない
オリンピックの闇の部分を
知ることになる。

それを知ったら

「オリンピックとは何なのか」という問いに対しても
今までとは別の答えに
たどり着くかもしれない。

空に向かつて

安藤美姫
イメイシ

フィギュアスケートファンのひとりとして今年の7月というのもはや東京五輪ではなく北京五輪のシーズン始まりである。はたしてこの冬はどうなるのかと気が気でない。

東京五輪の現状は応援する気になれない五輪とは何かという原点を見つめ返すこととなつたこつゝ年。ここに人生をかけてきた選手を思うと胸が痛い。選ばれし者・英雄となれていたのに窮地では特別扱いするなど邪険にされる。持ち上げられたり下げられたり都合よく消費されているアスリートという存在。イジジと人権を考えてみた。

日本を代表していた安藤美姫を、当時応援しているだけでも社会問題として扱われるようになっていったことも多い。史上初の4回転を成功させ注目された高校生のころ、性的な目標でパパ活女子としていたことへの恐怖を後に語っている。これは現在になってからもつてやっと社会問題として扱われるようになっていますが、その後の事を考えてみるチカラになる、そんな一冊だと感じます。外国人の受け入れ、雇用問題、使用地のその後の利用など、数年後の日本は一体どうなっているのでしょうか？

東京の子

藤井大洋著

東京、オリンピック開催から3年経つ、近未来の物語です。開催するに際しての話題ばかりになりますが、『その後』の事を考

えてみるチカラになる、そんな一冊だと感じます。外国人の受け入れ、

雇用問題、使用地のその後の利用など、数年後の日本は一体どうなって

いるのでしょうか？

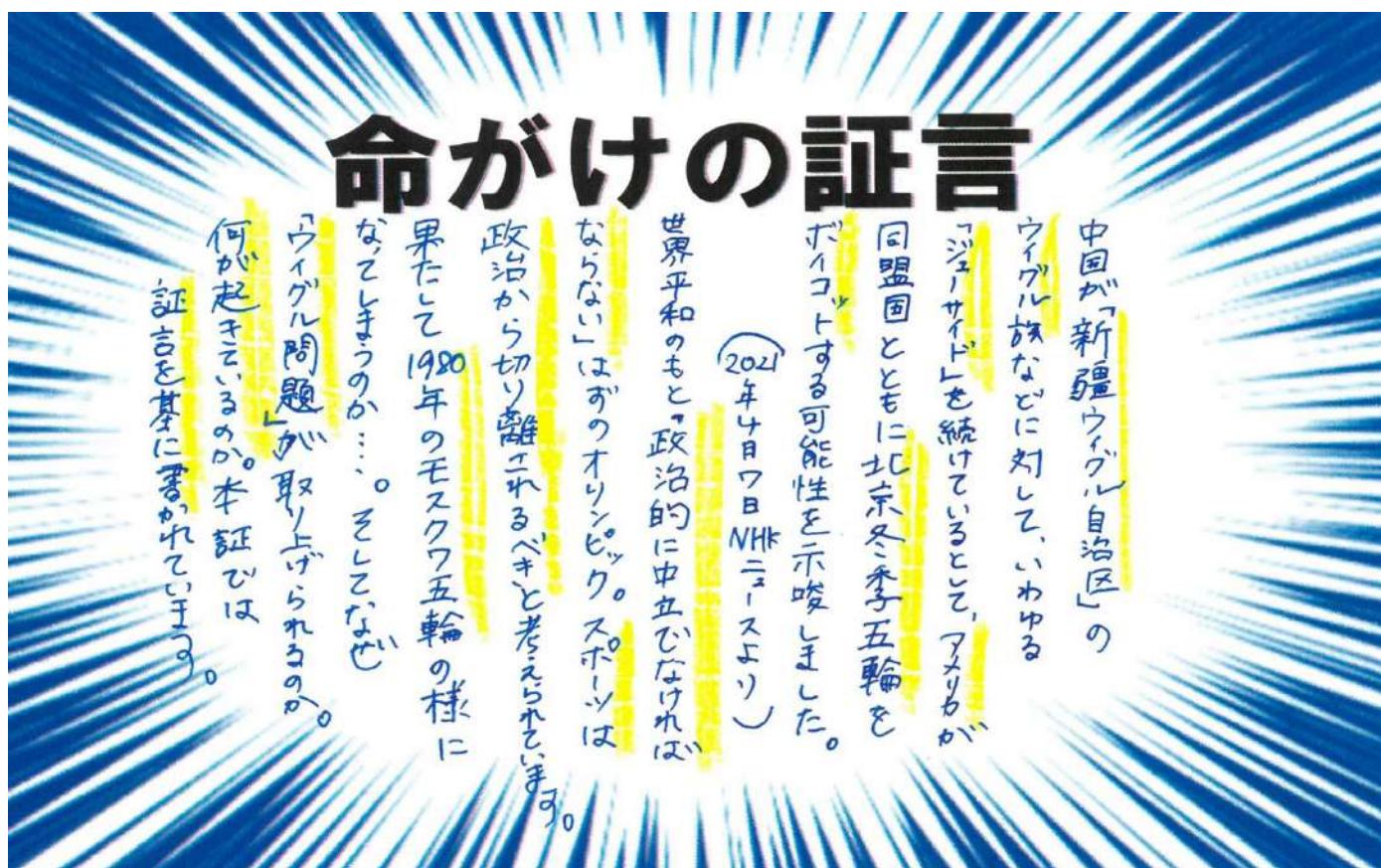
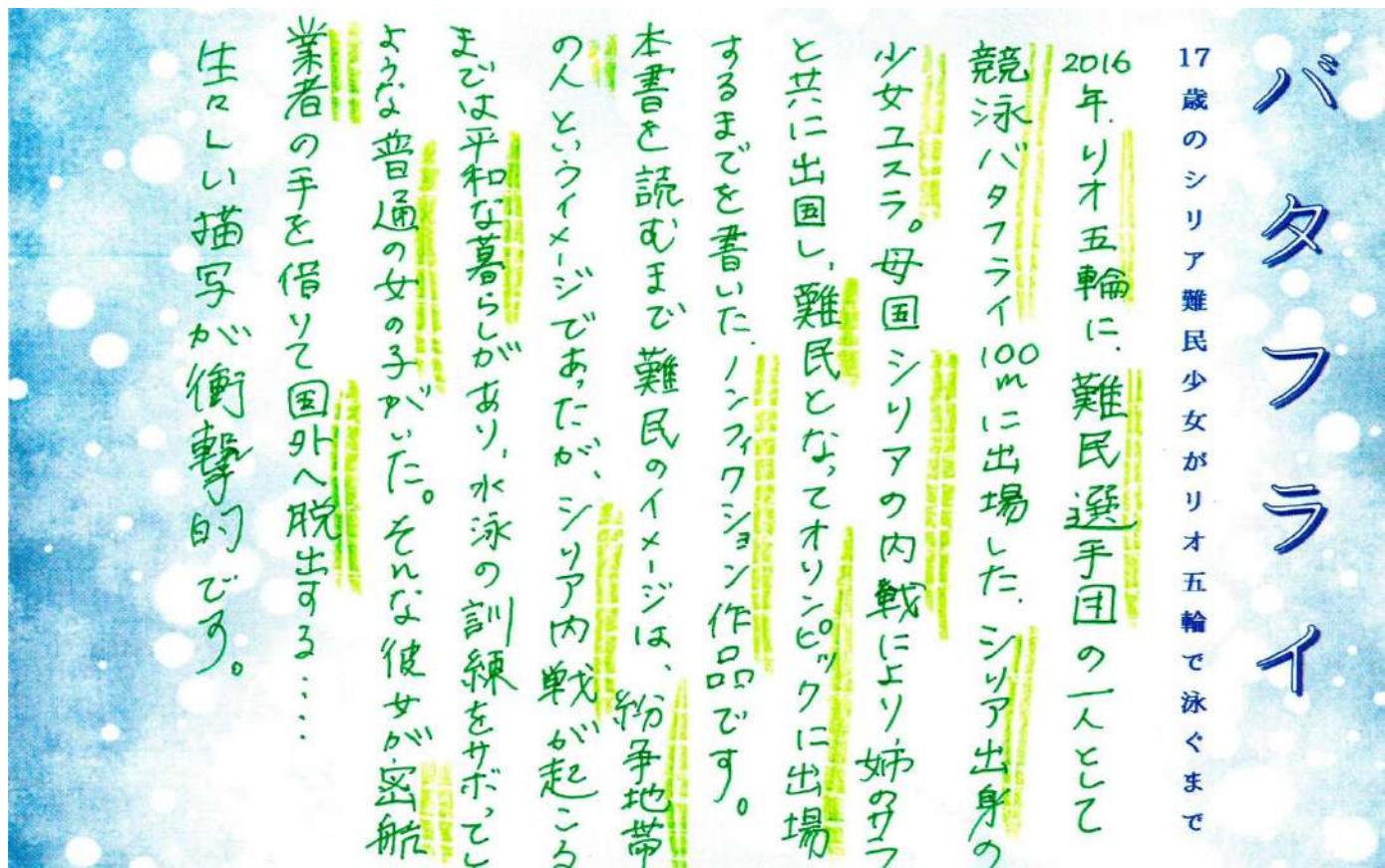
ハルクール

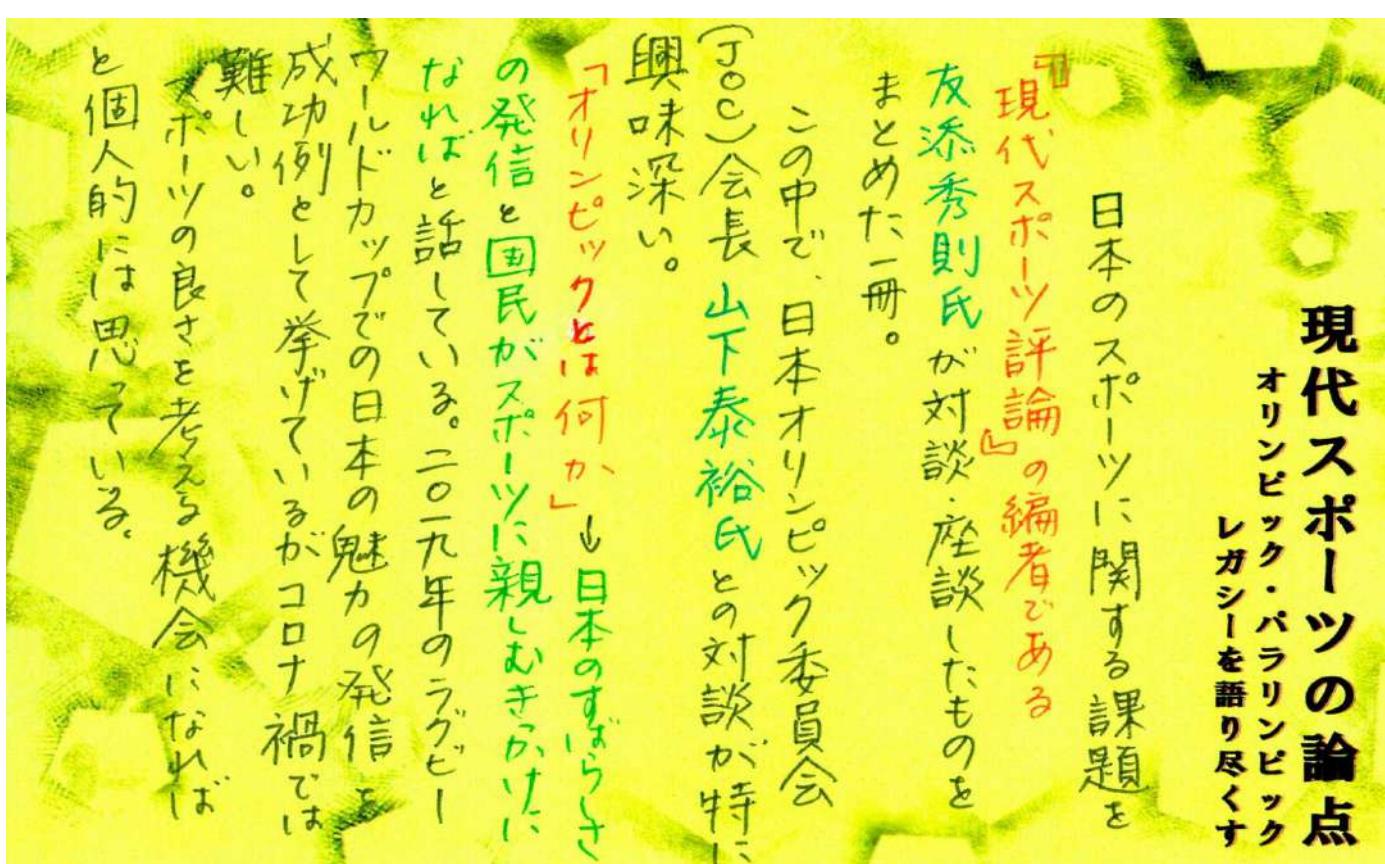
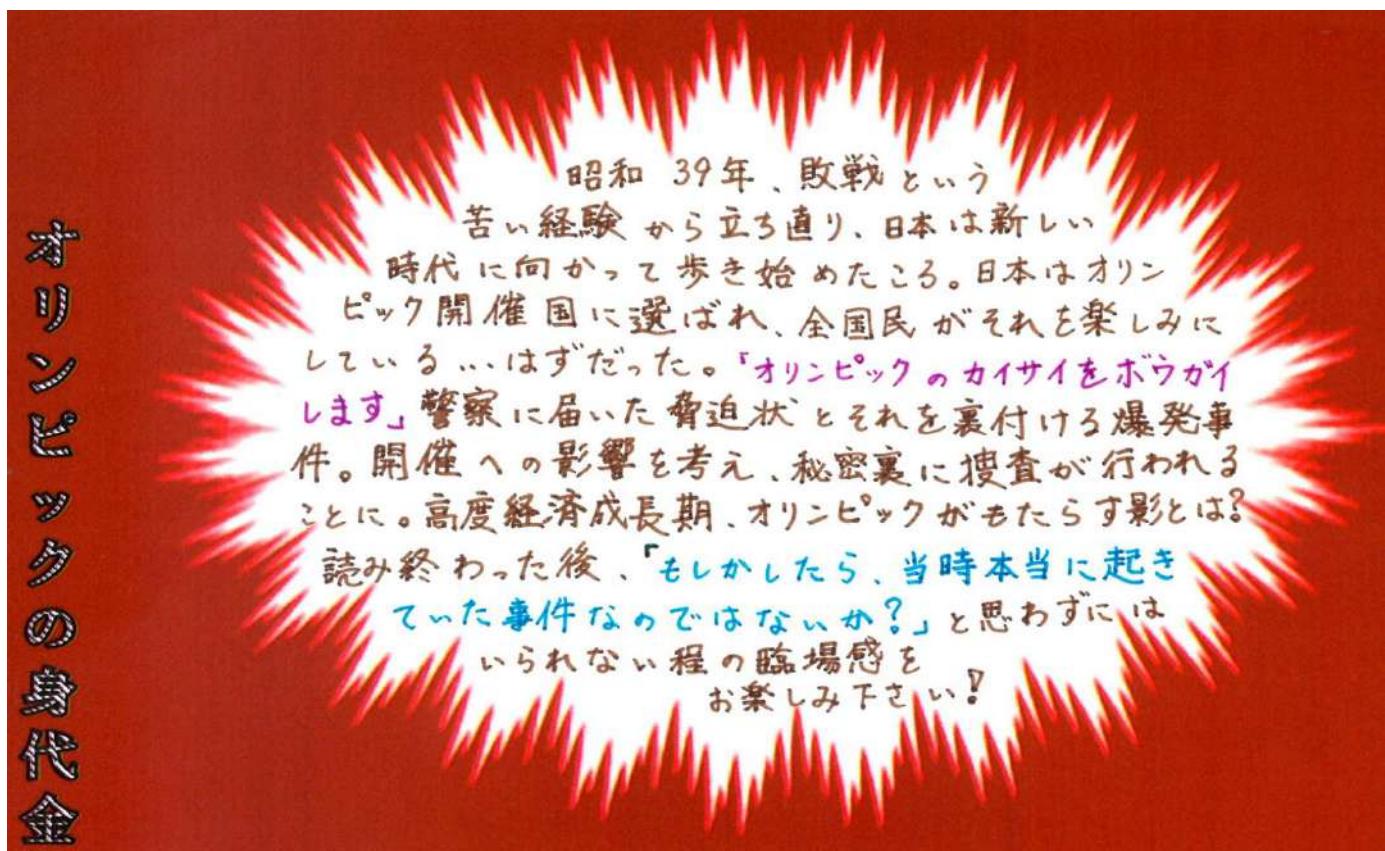
皆さんは知っていますか？
主人公が昔ハマーをしてた

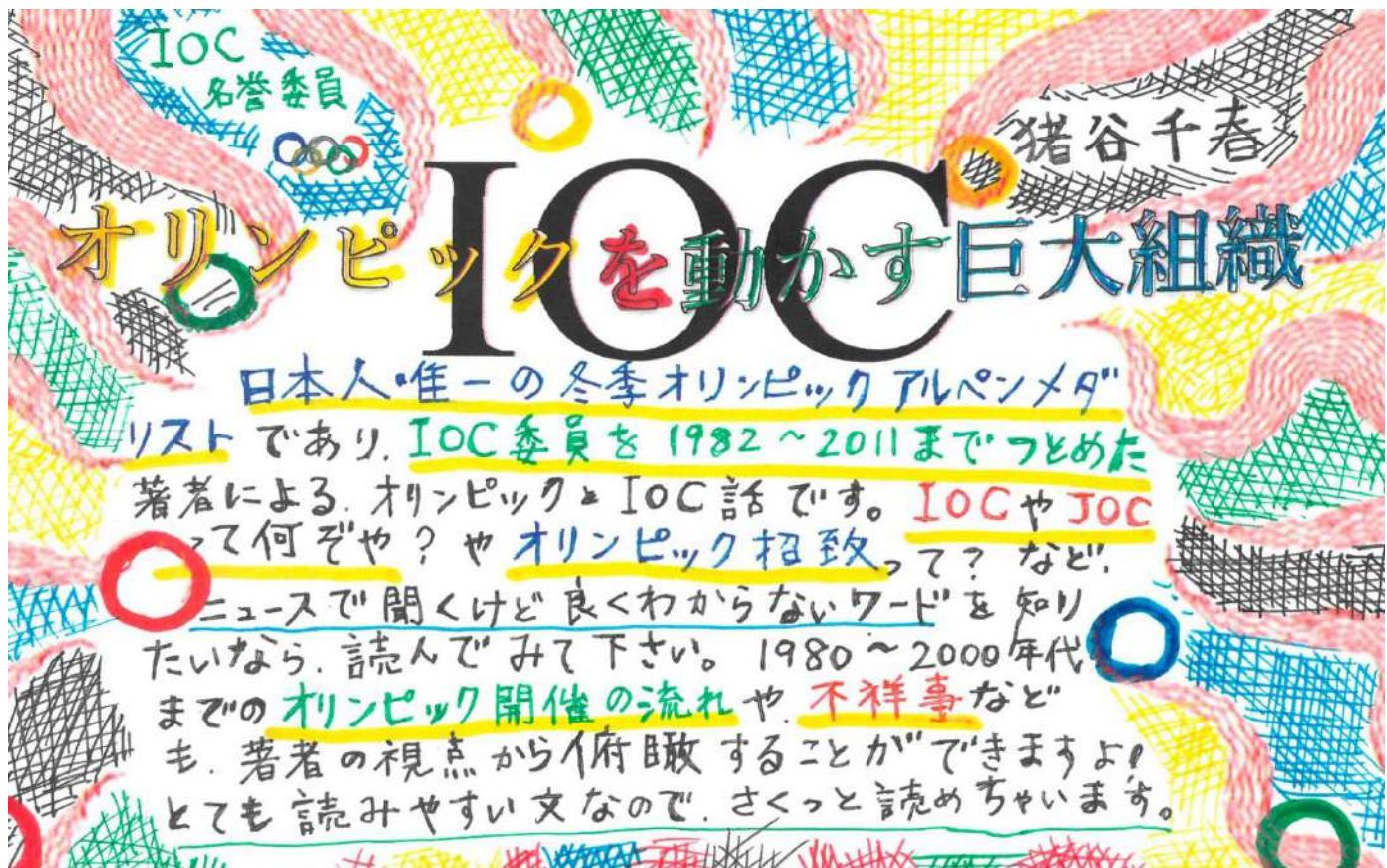
トリノ五輪後は多くの詐譲中傷に晒され、インタビュード質問への答えも言い訛ばかりと批判されていたが、大坂ナオミ選手のインタビュー拒否でさつ是非にも注目が集まっている。もちろんネット中傷も去年から枚枚報道が迅速化されている。ソチ五輪目前の突然の出産報告はスキャンダラスに扱われたが、選手の人生はどう干渉されるもつかない。まだ干渉されることはなかったが。それどころか五輪を目指し全日本選手権では参加者の誰よりも加点が高い完璧な3ルツで飛んでいた。強いて選手だった。

1. 運動方法

将来、もしかしたら、オリンピックの種目になるかも？・それませんね。







愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2021年 7月

オリンピックが開催されてもされなくても、
オリンピックについて考えてみよう!!

